

22 うちの避難所登録制度

取組分類	参加体験	行動特性	デジタル
			<input checked="" type="checkbox"/> 避難しやすい
自治体	広島県尾道市		

問合せ先：広島県尾道市 総務課

取組概要

- 「うちの避難所登録制度」は、自主防災組織等からの申請により、**住民の身近にある集会所などを、風水害時の地区の避難所として登録する制度**である。
- 避難所が遠く避難をためらっていた住民は、**避難所が近くなることで**、また、知らない人と一緒になることに避難をためらっていた住民は、**顔見知りばかりの避難所となることで、避難がしやすくなる。**

取組のきっかけ

- 平成30年7月豪雨では、土砂災害警戒区域などの危険な場所に住んでいるにもかかわらず、避難をしなかった住民が多かった。地域住民の身近にある集会所などを地域の避難所に登録することで、避難しやすい環境を作ることとした。

取組のポイント

- 地域住民の身近にある集会所などを、**自主防災組織などが地域の避難所として登録申請。**
- 地域が選定した避難所について、**市が下記の条件を満たしていることを確認したうえで、「うちの避難所」として登録。**
 - ★登録する集会所等は、風水害による災害リスクが低いこと
 - ★風水害時に不特定の地域住民が避難することができること
 - ★地域の住民に「うちの避難所」に避難するよう周知できること
- 登録された「うちの避難所」へ、市は登録標識を交付するとともに、備蓄用毛布や感染症対策用品を支給する。
- 「うちの避難所」の開設・運営は地域住民で決定・実施。避難情報の発令時に「うちの避難所」を開設した場合は、避難所の運営経費として、24時間ごとに1,000円を支給する。

▼うちの避難所登録標識のデザイン及び貼り出し状況



▼標識設置をしたうちの避難所



取組の効果

- 令和4年11月時点で37施設が登録され、平均12施設が毎年開設されている。
- 地元からは「班長を通じ連絡網で個別に避難も呼びかけた。地域の意識は高まっている」「高齢者で車を運転できない人もいる。地区内なら心理的に逃げやすい」等の声が上がっている。